

令和4年度 事業報告

[法人・北海道博愛舎・ニュー北海道博愛舎・グループホーム紅愛の運営]

- ・新型コロナウイルスの感染対策を実施していたが、年末クラスターを発生させ、約1ヵ月でクラスター終息、幸いに重症化する利用者・職員はいなかったが、今後も独自の感染対策を実施する。
- ・障がい福祉制度関連では、積極的な補助事業の活用や虐待防止に係る要綱の改正等推進した。
- ・職場環境の整備として、工場ボイラ3台の購入、職員年間休日増や暑さ対策に向けた検討を実施し、本年4月から休みが増えたことや暑さ対策に対する補助申請も計画に行っている。
- ・施設行事は、感染対策に留意し、焼き肉・新年会を行うことができ、唯一、利用者等の息抜きとなった。
- ・利用者の確保については、市町村や相談支援事業所等との連携や高等養護学校に直接訪問し営業活動を行いながら、施設内実習の受入も実施するなどして、情報収集や勧誘に努めてきたが定員割れが続いている。

[就労支援事業・利用者工賃実績]

- ・就労継続支援B型事業は、クラスターで作業量が減少した月もあり、また、取引先も新型コロナウイルス感染症が続いて受注が減少したことが影響し、収益が伸び悩んだ。
 なお、関係者全体がコロナ関連で大変な中、単価アップや事業所の新規開拓など営業努力を行った。
 また、年間平均月額工賃45,000円以上となった。

[施設の改修]

- ・老朽化したボイラの入替（3台）を補助金を活用し実施した。
- ・リース期間満了のため、配送用車輛の入替を行った。
- ・施設内の環境整備として、浴室のカビ取り清掃作業、クロスの張替え、居室等の漏水補修等、食堂アコーデオンカーテン交換など衛生環境を整えた。
- ・利用者の高齢化に伴い、パイプベッドから電動ベッドに入替え、快適な生活環境を整備した。
- ・施設老朽化に伴い、サイディング工事、排水処理施設のポンプ交換、給湯・暖房用ボイラ修繕工事、誘導灯交換工事 建具改修工事などを行ったが、いずれも小規模修繕に収まった。

[北海道博愛舎・ニュー北海道博愛舎 利用者の状況と対応]

両施設の利用者の高齢化、障害の重度化が顕著となっている。
 利用者がコロナ過で自粛お願いする中、施設内行事の実施を行った。
 市町村や相談支援事業等との連携を取りながら、利用希望者の情報収集や勧誘に努めている。
 今年度北海道博愛舎は、新規入所者1名、退所1名で増減はないが、入院者が多かった。
 ニュー北海道博愛舎は新規入所2名、退所5名で3名減員した。
 グループホーム紅愛は、入所1名増員となる。
 給付費全体としては、前年度と比較して約1,862万円の減額となった。

[行事実施状況]

年月	行事内容
R4 6月	日赤献血
7月	夕張市農協青年部メロン贈呈 新型コロナワクチン接種4回目
8月	焼き肉パーティー 定期健康診断
10月	インフルエンザワクチン接種 日赤献血
11月	避難訓練 新型コロナワクチン接種5回目 クラスター発生
12月	歳末助け合い募金・赤い羽根募金 森農園「長芋」贈呈 クラスター解除
R5 1月	利用者新年会 新型コロナワクチン接種（未接種者）
2月	定期健康診断
3月	避難訓練
その他	毎月第3水曜日 利用者誕生会 毎月第3・4日曜日 利用者理容日

[職員研修実施状況]

年月	研修内容	参加数
R4 4月	新型コロナウイルス感染症研修会 危険物従事者保安講習	全員 1名
5月	北海道公安委員会安全運転管理者講習	1名
6月	新任職員研修会 南空知地区就労支援事業所連絡会議	3名 1名
7月	福祉専門職キャリアアップ研修（リーダー）	1名
9月	福祉専門職キャリアアップ研修（初任者）	1名
10月	集団指導及び感染予防研修 南空知地区障がい者雇用支援地域合同会議	3名 1名
11月	クリーニング師及びクリーニング業務従事者研修	1名
R5 1月	障がい者虐待防止・権利擁護研修 就労支援研修会	2名
2月	新任職員研修会	1名
3月	社会福祉施設等における虐待防止の 取組推進研修会	希望者